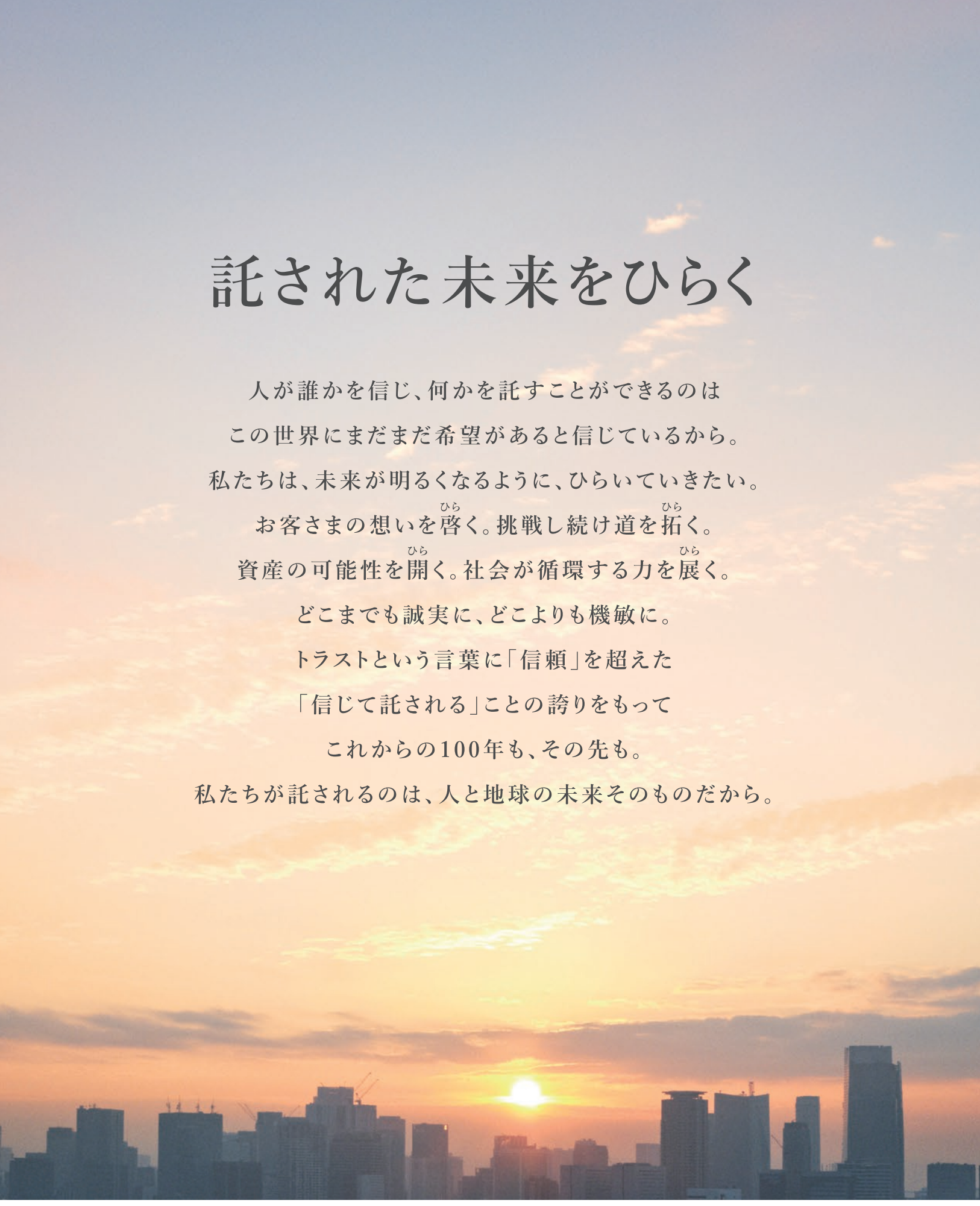

# 託された未来をひらく

人が誰かを信じ、何かを託すことができるのは
この世界にまだまだ希望があると信じているから。
私たちは、未来が明るくなるように、ひらいていきたい。
お客さまの想いを啓く。挑戦し続け道を拓く。
資産の可能性を開く。社会が循環する力を展く。
どこまでも誠実に、どこよりも機敏に。
トラストという言葉に「信頼」を超えた
「信じて託される」ことの誇りをもって
これからの100年も、その先も。
私たちが託されるのは、人と地球の未来そのものだから。

三井住友トラスト・グループは2024年、創業100年を迎えました。これを機に、ブランドスローガン「託された未来をひらく」を策定しました。

# Contents


2 100周年特集
6 CEOメッセージ
14 パーパス
16 価値創造プロセス
18 マテリアリティ
22 好循環によるAssets Under Fiduciaryの拡大
24 2023～2025年度
中期経営計画の進捗

Theme. 1
**インパクトマテリアリティ**

28 資産運用・資産管理の高度化
32 デジタル・イノベーション
34 人生100年時代
36 ネットワーキング
38 ESG/サステナブル経営

Theme. 2
**財務マテリアリティ**

50 財務ハイライト・非財務ハイライト
52 CFOメッセージ
57 政策保有株式削減に向けた取り組み
58 事業戦略
66 ステークホルダーとのコミュニケーション

Theme. 3
**ガバナンス・経営基盤マテリアリティ**

70 人的資本
80 社外取締役座談会
84 コーポレートガバナンス
91 当社の取締役・執行役および
グループ中核子会社の取締役会の構成
94 受託者精神
99 内部監査
100 リスク管理
105 金融円滑化への取り組み
106 セキュリティ
（情報セキュリティリスクとサイバーセキュリティ対策）
108 コンプライアンス

**データセクション**

112 当グループの概要・外部評価一覧
114 財務データ
116 企業情報


## 編集方針

今般、投資家を中心としたステークホルダーの皆さまに当グループの取り組みについてご理解いただくために統合報告書を作成致しました。本報告書においては、創業以来、「託された未来をひらく」存在として、我が国の発展に貢献してきた当グループが、次の100年に向けて、パーパスのもと、「資金・資産・資本の好循環」をより一層促進するための具体的な取り組みや企業価値向上について説明しています。編集にあたっては、IIRC（国際統合報告評議会）が発行した統合報告フレームワークを参考に、財務情報のみならず、ビジネスモデルや人的資本戦略、コーポレートガバナンス、サステナビリティなどの非財務情報の充実を図っています。また、当社のディスクロージャーポリシーに則り、適切に開示しています。なお、詳細な財務情報やESG関連情報についてはディスクロージャー誌資料編、サステナビリティレポートおよびウェブサイトなどをご覧ください。

## 報告対象

期間： 2023年4月から2024年3月（一部に2024年4月以降の情報も含みます）
範囲： 三井住友トラスト・グループ
（三井住友トラスト・ホールディングス、三井住友信託銀行およびその他の子会社・関連会社）